

# 令和8年度 第1回 学校運営協議会

令和8年6月6日（土）午前10時～正午  
静岡県立掛川東高等学校 第1応接室

< 次 第 > 司会：教頭

- (1) 委嘱状交付
- (2) 自己紹介
- (3) 校長挨拶及び令和8年度学校経営計画について
- (4) 桔梗が丘祭（学校祭）の見学
- (5) 学校近況説明
- (6) 意見交換
- (7) 連絡等

< 学校運営協議会委員 >

くれまつ かずき 樽松 一樹	公立高等学校 元校長
しばた かつあき 柴田 勝明	掛川市立西中学校 校長
はなむら かずひこ 花村 和彦	自治区（亀の甲区）代表
すずき きょうじ 鈴木 教示	P T A 前会長
なかやま ともみ 中山 朋美	掛西学園地域コーディネーター
たかはし さつき 高橋 咲月	コンセプト株式会社
しみず りつこ 清水 立子	子育てセンターさやのもり

欠席

< 静岡県立掛川東高等学校 担当職員 >

むらた そういち 邑田 聡一	校長
こすぎ ゆうすけ 小杉 友祐	副校長
すぎもと ひろよ 杉本 浩世	教頭
すぎもと じん 杉本 仁	事務長

< 連絡事項 >

- 1 今後の学校運営協議会開催予定について
  - ・ 第2回学校運営協議会  
10月21日（水）PMを予定 授業参観（探究）等
  - ・ 第3回学校運営協議会（学校関係者評価委員会を兼ねる）  
2月8日（月）PMを予定 学校自己評価報告等
- 2 その他
  - ・ 10月1日（木）体育大会
  - ・ 2月9日（火）総合探究発表会

## 委員の皆様からの御意見

○生徒たちが生き生きと取り組んでいました。笑顔で接客をしている生徒の後ろで、真面目な表情で裏方に徹する生徒が印象的でした。生徒と教員の間に、良い関係が構築されているのがわかりました。教員の力量が問われるのは授業です。授業をないがしろにすると、生徒からの信頼を失います。どんな年代の教員も、前年より授業の力量をつけていって欲しいと思います。また、SNSやホームページなど、外部への情報発信に力を入れてください。特にホームページは、誰が見ているかわかりません。以前、ホームページの年間行事予定を見た時、令和7年のままでした。アポ取りをする際には、行事予定を見て日程を組んだりします。5分もあればできることだと思いますので、更新をお願いします。

○生徒の皆さんが、楽しそうにしていました。勉強も大事ですが、行事を楽しむことも大事です。中学校で親交のあった人から、たくさん声を掛けてもらいました。掛川市の取り組みは進んでいます。中学生が放課後をどのように過ごすのか、それが今後の課題です。子どもが自分で選び決める、そのような体験を中学生にもさせたいです。その際の選択肢を増やし、環境を整えていかねばなりません。スポーツ誌「Jr. Athlete」を手掛けているエム・スポーツの方から、美術部に声を掛けていただき、接骨院のガラスに絵を描かせていただいたことがあります。外部の方だけでなく、中学生と高校生のコラボもできたら良いと思います。

○校内を見学した際、廊下の装飾がはがれているのを自主的に直していた生徒が、とても素晴らしいと思いました。昨年も申し上げましたが、ヘルメットの着用率は増えましたか？安全面でとても心配なので、増えるといいなと思います。自転車の罰則も厳しくなりましたが、生徒は大丈夫でしょうか？地域の役割を考える上で、若者（中高生）に期待する部分はとても大きいです。

○縁日を見て来ました。生徒が盛り上げてくれてとても楽しかったです。関わってもらえたことは大人でも嬉しいので、親子連れの子どもなら、もっと嬉しいことでしょう。フレンドリーな気持ちが伝わってきました。中央小の敷地にセンターがあり、中高生がよく立ち寄ってくれます。掛東生も来てくれたことがあり、子どもと一緒に遊んでくれ、子どもたちはとても喜んでいました。子どもたちは、年上のお兄さんやお姉さんと関わることとても喜びます。夏休みなどに、そのような時間を持てたらいいなと思います。

○学校祭、楽しかったです。掛川東高校は、地域の学校というイメージです。地域と連携して商品開発をするのは、とても良い取り組みだと思います。今後ますます活発に行えると良いですね。学校の詰め込み教育から脱却し、教員の業務改善等で行事も減り、生徒の学校に対する思い入れが少なくなると心配です。学校は何をすることか？集団行動と勉強をするところでしょうか？通信制やフリースクールも増えていますが、生徒たちが楽しそうにしている姿を見ること以上のものではありません。高校って、こんな良いことがある、というのを、もっと地域の人に見てもらった方がいいと思います。上の世代と下の世代、両方とつながり、全年齢層で立脚する学校になったら、それが掛川東高校の魅力になるのではないのでしょうか。

○箏曲が素敵でした。見ていたら、触ってみたいくなりました。体験の場があったらいいなと思いました。世代間交流については、中高生のコラボの他に、園と小学校で合同の

活動もあります。地域とのつながりが希薄になりつつある中、ここ数年、家庭科の授業で高校生が園に来てくれることがあります。2～5歳児クラスと交流をするのですが、年齢に合った遊びを考えてきてもらいます。小さい子どもにとっても、大きい人と関わるのは嬉しいことです。そのような活動が、保育職に就くきっかけになってくれたらいいなと思います。世代を超え、地域ぐるみで活動出来たら良いです。施設の人や地域の人との交流が、保護者へも広がるといいなと思います。保護者も色々な人とのつながりを実感することができます。インスタを見る人も多いと思いますが、学校祭をきっかけにして、もっとアピールしても良いと思います。「練習試合やるから見に来て」でも良いのではないのでしょうか。

○第2回の学校運営協議会で委員の方に探究学習に関わっていただくことについて

・関わった時、積極的に応えてくれるのでしょうか？

→生徒によります。ポートかけがわやオンライン相談会でも、積極的に参加する生徒とそうでない生徒がいます。

・話す中で整理される部分もあると思うので、特にジャンルを決めなくても良いと思います。それぞれが色々な専門家ですが、それにとらわれずオブザーバーとして関わるのはいかがでしょうか。

・壁打ちなら何でも答えます。

・30分だと短いです。なるべく長く接することができると思います。回を重ねるごとに深まると思うので、1回だと難しさを感じます。

・ねらいは何ですか？

→ひとつは、委員の方に生徒の様子を知っていただくことです。もう一つは、委員の方との関りを通じて、生徒が成長することです。色々な人と話すことによって、力を発揮できる生徒は多いです。中学校の先生は関わってくれたが高校の先生はそれほどではない、と感じている生徒がいます。高校に入ると、大人との会話が少なくなったと感じている生徒も多いです。学び合いという点においても、中高の壁をなくしていきたいです。大人とつながる機会を持つことで、生徒の成長が期待できます。教員や地域の人など、大人との対話が増えることは、生徒にとって安心感や成長につながります。

・昨年度の探究発表会を見させてもらいました。テーマはいいのに、着地点がずれているものが多かったように感じます。

・授業参観もしたいです。いつならできますか？

→教員の授業参観期間（6/9～16）、オープンスクール（11/7）がありますが、基本的にはいつでも可能です。

・地域で育てるという環境が整い、それは大人にとっても子どもにとっても嬉しいことです。

・探究は答がないので難しいです。昔、ファンになったオリンピック選手について調べたことがありますが、あれも探究だったのでしょうか。推し活のエネルギーはすごいです。好きなものに注ぐエネルギーはすごいと思います。

○ヘルメットについて

・「ヘルメットの日」を設定したらどうでしょうか。

・息子は、髪形を気にしてヘルメットをかぶりません。

・他校と足並みを揃え、地域で取り組んだらどうでしょうか。

・静岡市内では、少しずつ増えてきています。

・都会の人はかぶる、田舎の人はかぶらない、特に大人がかぶっている、そんな傾向があるように思います。

- ・契約上の問題もあるためか、技能実習生はきちんとかぶっています。
- ・シートベルトと同様、時間をかけないと難しいでしょう。
- ・中学校では義務化しています。高校入学後かぶっていても、周りがかぶらないと、かぶるのをやめてしまいます。
- ・おしゃれなデザインのヘルメットや、帽子のようなヘルメットもあります。かぶりたくなるようなヘルメットについて、探究で考えてみたらどうでしょうか。